

第10回 平成23年3月17日(木)

昨年4月に開講した一流塾も今回で最終回を迎え、講師に細谷英二氏(株)りそなホールディングス取締役兼代表執行役会長)をお迎えしました。



(株)りそなホールディングス会長
細谷英二氏



塾長 一柳から卒塾証書の授与

細谷氏は、『「国鉄改革」・「りそな再生」から学んできた教訓』と題し、JR 東日本の副社長から、りそなホールディングス会長に就任し、大変なご苦勞をされながら経営再建に取り組まれた経験、経緯をご披露頂き、企業経営の根幹はお客様、お金、従業員である。経営者は経営の劣化を防ぐため、透明性の高い経営を徹底し、従業員が安心して業務改革が停滞することのないよう、常に社内をゆらし続けなければならないと、リーダーの心得や、りそな銀行で取り組まれている次世代経営人材の育成方法や、ダイバーシティマネジメントへの取組をご披露頂きました。国鉄の民営化やりそな再生といった大変な修羅場での経験を踏まえた含蓄ある言葉に、講義後も質疑応答が活発に行われ、塾生からは「知識ではなく知恵の大切さを改めて認識した」、「あたりまえの事をコツコツとやり続けることの重要性を再認識した」といった声がありました。



一流塾特別顧問
福川伸次氏



(株)三井住友銀行名誉顧問
西川善文氏



(株)東京証券取引所
グループ社長
齊藤 惇氏



森ビル(株)特別顧問
渡邊五郎氏



関西大学教授
白石真澄氏

その後、一年間の塾の講義を総括する卒業記念講演として、一流塾特別顧問の福川伸次氏((財)機械産業記念事業財団会長、元通産省事務次官)から卓話を頂き、日本経済が置かれた状況を、改めて鋭い視点でわかり易く解説頂きました。その後、一柳塾長から一年間の塾の総括として、「一流塾で“本物”に触れた経験を活かし、“人間力”を磨き、たった一度の人生を明るく頑張るって欲しい」と塾生を激励しました。

講義後の卒塾式は、冒頭に東北地方太平洋沖地震の被災者の方々に出席者一同黙禱を捧げ、記念講演頂いた福川特別顧問から「時間軸、空間軸、領域軸を意識し広い視野を持って」に、講師としてご登壇頂いた西川善文氏(株)三井住友銀行名誉顧問、元日本郵政(株)取締役兼代表執行役社長)からは「自ら悩みぬき決断力を磨け」、齊藤 惇氏(株)東京証券取引所グループ 取締役兼代表執行役社長)からは「企業の危機管理として、マニュアルを整備するだけでは不十分。如何に実践するかがポイント」とお言葉を頂きました。また、渡邊五郎氏(森ビル(株)特別顧問、元三井物産(株)副社長)からは「修羅場、土壇場、正念場の場数と胆力が男の人生を決める」、白石真澄氏(関西大学 政策創造学部教授)からは「一十百千万の法則」等、それぞれ大変含蓄あるはなむけの言葉を頂きました。



第3期生 卒塾の記念撮影

第3期一流塾の最後となった懇親会は震災・停電の影響で参加者が減少しましたが、出席した塾生は講師陣と膝を突き合わせ、本音で意見交換を行う絶好の機会となりました。塾生から1年間の塾の活動を振り返るスピーチでは、「非常に密度の濃い勉強会で大変刺激的だった」、「一流の講師陣に直に接し、『本物』が持つ凄さを実感した」等の声が寄せられ、また、最後の卒塾後もOB会(塾士会)活動等を通じて再会することを誓い第三期一流塾は終了しました。